

平成29年度 登録水先人養成施設外部評価実施結果シート

(一財)海技振興センター

分類	評価項目	水先教育センター養成計画実施状況報告書の概要	H27 評価	H28 評価	H29 評価	評価委員コメント
1. 養成組織	1 水先人養成組織は経営主体・水先法上の登録主体である養成施設において、水先人養成の実施に関する教務・学務や庶務関係の実質的な責任主体として機能しているか。 チェック項目	1 教育センターは、現役水先人が主体となり、水先修業生を教育する組織形態とし、質の高い優秀な水先人を育成し、もってわが国海運の安全、かつ効率的な発展に資することを理念として、水先人養成の実質的な責任主体として機能してきた。	EA	EA	EA	海技大学校も水先教育センターの位置づけを良く理解し、水先修業生を教育する組織形態を維持し、実質的な責任主体として機能していることを確認した。
	2 水先人養成組織には、実質的長たる水先人管理者が配置され、運営会議、評価会議等を適切に運営しているか。 チェック項目	2 水先教育センターは、水先人管理者が配置され、関係規則、規程に従い運営会議・評価会議を適切に開催し水先人養成教育を実施している。	EA	EA	EA	適切に運用されている。運営委員会議事録等公文書の管理を事務局員の異動等があっても、確実に引き継がれるよう引続き指導願う。
	3 水先人養成組織は、海技振興センター支援の受入等に関する実質的な責任主体となっているか。 チェック項目	3 日本水先人会連合会、水先人会及び水先人と定期的な会合を開催する等連携を密にし、より良い教育内容・方法を構築し、質の高い水先人に必要な専門知識を教授している。				
	3 水先人養成組織は、海技振興センター支援の受入等に関する実質的な責任主体となっているか。 チェック項目	4 高質化、かつ均質化された標準的な操船技術を教授し、知識、技能が効率良く習得できる教育方法を採用している。	EA	EA	EA	責任主体として機能していることを確認した。
		5 年度ごとの養成計画を作成し水先区共通教育及び水先区個別教育の全期間を通し、PDCAサイクルによって養成組織として水先人養成体制、指導要領及び授業計画、並びに教育訓練の評価基準等の適正な維持、改善を図っている。				
2. 養成体制	1 養成の講師については水先人が大半を担う体制となっているか。	6 水先教育センター長を中心とする水先人講師陣が主体となって運営し、水先人養成教育に携わる経験豊富な講師陣を配置している。	EA	EA	EA	各水先区から経験豊富な水先人が講師となり、期間も2年体制になって落ち着いてきている。実質的には、事務局員3名体制、オペレータ3.5名体制に増強され体制強化が図られており大いに評価できる。29年度の修業生は、全体のまとまりが非常に良かった。講師もBBQの企画等うまく修業生をまとめていた。
	2 関連する実務的内容等の講義等については、適切な各実務者等の外部講師を活用しているか。	7 センター長1名、副センター長1名、水先人講師6名の計8名体制を維持し、水先人連合会と連絡を密にし的確な現役水先人を充てられている。また、事務職員2名、操船シミュレータのオペレーター3名が水先人講師を支援している。				
	3 養成にあたっては、外部の理解及び協力を得ながら外部民間業者を有効に活用しているか。〔タグ訓練、代理店研修(見学及び座学)等〕	8 水先人講師は水先実務教育、海技大学校教授及び学識専門家等は学術的な専門分野、及び各業務に精通した外部講師は水先関連業務をそれぞれ担っている。	EA	EA	EA	海運実務の講義を船協で受け持っているが、国家試験前の時間的に余裕のない時期に大手出身の1級の修業生にも必要なのか？カリキュラムと時間制の中で融通が効かない状況にある。最低限必要なこととそうでないことを仕分けてカリキュラムの見直しも今後の検討が必要ではないか。
	4 操船シミュレーター運用体制はオペレーター数を含めて適切か。	9 海技教育機構から水先実務修習を委託されている各水先人会が、実務実習の一環として、各事業者と連絡を取り、訓練・見学期間、日程を調整しながら実施した。	EA	EA	EA	
3. 養成設備・教材・支給品	1 質の高いより効果的な訓練を目指すため、シミュレーターソフトの不断の改善が図られているか。	10 4K操船シミュレータの完工検査を9月5日に実施し本格稼働を開始した。水先人講師の協力により、オペレーターは増員することなく3名体制を維持した。	EA	EA	EA	体制維持、強化についてセンターの不断の努力が見られ評価できる。
	2 修業生の安全を十分に考慮した必要な支給品が支給されているか。	11 4K操船シミュレータの稼働に合わせて係留索操作装置の改良に着手し、11月の訓練から導入した。 システム改善効果の確認	-	-	-	4Kの画像および係留索操作装置の改良点を現場で確認した。先端技術を用いたシミュレータによる操船訓練の成果に期待したい。
	12 教材以外のその他支給品については、従来の活用状況を確認のうえライフジャケットとパイロットコートの二品に絞り、支給している。	12 教材以外のその他支給品については、従来の活用状況を確認のうえライフジャケットとパイロットコートの二品に絞り、支給している。	-	EA	EA	パイロットコートはその浮力が非常に大きいことが実証された。要否アンケートを取るタイミングを考えて、無駄な支給があれば減らすことを必要。
4. 養成内容	1 実施したカリキュラムは国の基準を満たしているか。	13 実用水先英語の教材や参考資料に講義で使用しないものが多数あり、英語担当講師と相談し、該当する教材2冊を「参考図書」「備え付け」扱いとし配布しないこととした。	-	-	-	
	2 新規・複数の養成を含めて各級ともに、水先業務を実施する上で必要となる知識等の習得に重きを置き、実務・実践的な内容になっているか。	14 養成課程のカリキュラムは水先区共通教育22科目及び水先区個別教育3科目(重複科目1)、全25科目で構成され、各科目の教育時間等はシラバスに詳細が定められている。その内容は、養成教育に係る法令及び通達の要求を満たすものである。(教科書は共通教育16科目、個別教育5科目、計21科目)	EA	EA	EA	国の基準を満たしたカリキュラムを実施している。
	3 外航商船乗船実施中の卒業生(新卒扱いの三級水先修業生)に対し、「船員の常務」を体得させるために実習期間中における明確な目標や課題を提示し、目標達成のための動機付けを行っているか。	15 授業、演習、操船シミュレーター訓練、水先実務修習、水先関連事業実習及び商船乗船実習については、水先人に必要な知識・技能を習得するとともに水先人としての自覚・意識などを涵養するためのツールと位置づけ、それらを効果的に組み合わせ教育訓練を実施することが新養成課程策定の基本方針となっている。この方針に基づき全25科目ごとに作成されたシラバスは授業の担当者、教育目標、教育方法、教育内容、教育時間などの詳細を定めており、担当者はそれにしたがって実務実践的な教育を実施している。	EA	EA	EA	
	16 平成27年10月1日に入学した三級水先修業生(要商船乗船実習)8期生(3名)に動機付けのための課題を出し、平成29年9月にその課題に対しての報告があり、10月から共通教育を行った。共通教育を受ける姿勢から判断すれば、課題論文は目標達成のための動機付けになっている。9期生(4名)・10期生(2名)に対しても同様の動機付けを行った。	EA	EA	EA	船社の理解も得られており4組織間のコミュニケーションは良好に図られている。10期生に対する具体的な課題・報告等については、現時点で共有できていない。動機付けとともにフォローアップも重要であるとする。	

分類	評価項目	水先教育センター養成計画実施状況報告書の概要	H27 評価	H28 評価	H29 評価	評価委員コメント
		17 平成26年度の外部評価における登録水先人養成施設からの改善提案への対応として「三級水先修業生の商船乗船実習に関する意見交換会」を1年に1回以上開催することになり、平成29年度は11月14日に開催した。意見交換会では、商船乗船実習に関係する四組織間のコミュニケーションを密に図ることを主目的としている。	EA	EA	EA	
	4 操船シミュレーター訓練は、計画通り実施されたか。	18 水先区共通教育の操船シミュレーター訓練では、科目毎に「複合モード」、「独立モード」、「分割モード」、「フルミッションモード」と使い分けており、効率且つ効果的に訓練を実施している。 18 水先教育センターでは、マルチ・キュービクル方式の有効性を高めるひとつとして、東京湾・伊勢三河湾・大阪湾・内海・関門の航行業務を行う2・3級の水先修業生に対して同シミュレーター訓練を通して、衝突予防法に沿った本船動向やそれ以外の動向をシミュレートすることで理解を深める方策を検討することとしている。 19 操船シミュレーター分割モードのメリットを生かした訓練の効果を高めている。	EB	EA	EA	
	5 以下の外部教育は実施されているか。 1) タグ訓練 2) ポートラジオ、代理店、その他関連産業における見学	20 指導要領付属シラバス(5大水先区対象)の科目20「操船実務」に記載されているタグ訓練、及び科目21「海運実務」に記載されているポートラジオ・マーチス見学が実施された。	EB	EA	EA	
5. 養成品質管理	1 水先人養成組織内の評価会議は自己点検・評価を行い、自立的な改善を行っているか。	21 平成29年度水先教育センター養成計画冒頭に「水先教育センターの水先人養成の理念と使命」を掲げ、PDCAサイクルにより適切な内部評価と自立的な改善を行った。	EA	EA	EA	PDCAサイクルが生かされた計画書があり、それに従った報告を受けて効率的に改善に結び付ける流れができています。
	2 訓練教育の標準化をはかる仕組みを講師等が適確に運用しているか。(教育訓練及び評価の「均質化」)	22 「水先人養成課程の指導要領」は、水先教育センターで適確に運用されており、専任の水先人講師の教育・訓練の指導・評価基準を均質化している。新任講師は所定の講師研修を受けた後、担当する座学及び操船シミュレーターの訓練に関する新・旧講師間の引継ぎを確実にし、教育センターの水先人養成教育の品質が維持されている。	EA	EA	EA	
6. 修業生の管理	1 養成中は修業生に対し適宜評価を行っているか。	26 水先区共通教育と水先区個別教育で構成される新養成課程において、養成期間を通じて修業生に対する評価を適切に行うため、科目ごとの指導要領と評価方法等が「水先人養成課程の指導要領」に定められ、これにより講師及び指導員は修業生に対する適宜評価を行っている。 27 養成教育訓練の日々の実施状況及び実施項目ごとに設定された達成目標に対する修業生の達成状況を記録し、記録されたデータを活用して養成教育の改善に活用することを主目的に開発したEMMAを改良した「教育訓練管理システム(RET)」に全ての水先修業生の教育訓練及び評価等データは記録管理されている。 28 教育訓練管理システムのセキュリティを含む運用体制を改善した。	EB	EB	EB	EMMAシステムからRETシステムと一部改良され使い勝手も良くなっていると思われる。システムのセキュリティについては、パスワード管理と同RETシステムの取扱いに関するマニュアルを、H30年度に作成することで作業を進めており、完全なる改善は先送りとなっている。パソコンを使用しないときは、パスワード入力画面等の初期画面に戻る等その時間も含め必要な改良をご検討頂き、現在はパスワードを180日有効としているが、この期間も果たしてどの程度が適当なのか併せて検討をお願いしたい。
	2 修業生に問題がある場合(素行や能力を含む)には、適切に指導を行っているか。(授業態度やモチベーション)	29 修業生の知識・技能の習得状況及び水先人としての適性に関しては「水先人養成課程の指導要領」に基づき、行動の評価を含めた評価を行い、必要に応じて進路指導も行うこととなっている。また、商船実習訓練中の修業生の休暇中の研修やケアにつき、平成29年11月14日から開催されたワーキンググループにて検討を開始した。	EA	EA	EA	
7. 養成成果	1 国家試験の各級における合格率は筆記・口述共にどうであったか。 確認する指標	30 一級修業生2名が不合格であった。	EA	EA	EA	結果のみ確認した。合格率は評価の対象として相応しいか疑問ではあるが、長期的な傾向を見ていく必要はあると考える。1級の水先修業生に2名の不合格者が出たことは残念である。

評価の運用に関する評価(評価委員コメント)

○ 国家試験合格率を組織の指標にすべきかどうかは議論の余地があるが、一修業生に費やすコストを考慮すると、不合格者は出ない方がよい。

○ また、水先修業生として知識や実際の業務スキルがふさわしいか否か入学時点で学力審査を行うなどの対策も必要ではないか。

○ 現時点の目標あるいはカリキュラムの要件に対して、講師陣は、やるべき教育を着実に実行してきていることが確認できたが、今後は現行カリキュラムが必要且つ十分なものであるかどうか、また、限られた教育期間の中で、これまでの経験値や技量が異なる様々な(出自の)修業生にとって有効なシラバスとなっているのか、それらの内容について徐々に見直しをしていく段階にも来ているのではないか。

○ まずは、現行のガチガチのカリキュラムを見直すことや、修業生の経験や業務スキルの特性に合わせたFlexibilityのある講義や訓練も考案頂きたい。

○ 実施状況報告書の作成が負担となっていることは理解するが、事業計画の焼き直しではなく「今年度は特にここを改善した」といった目玉のようなものをまず最初に項目出して、関連頁を引用するなど、報告書として引きつける内容を工夫されることを期待する。

○ あわせて実施状況報告書には、外部評価の項目に合わせた記述が必要と史料する。

○ 外部評価委員は実施報告書と現地ヒアリングしか判断材料がない。例えば、分類4項目3などである。

○ 本年度修業生42名は一体感があつたとの報告があつた。修業生の中にリーダーシップを発揮する者がいたことも一因であろうが、センター長以下講師陣、スタッフの方々の努力のたまものと史料する。高く評価したい。